

タレントプロダクション・シーディング
と
TV製作会社・元気な事務所
の
コラボレーション塾

京都に今秋10月開講!!

有名タレント・業界人を講師に迎え実践的なカリキュラムでタレントを養成します。カルチャースクール感覚であなたの可能性を試してみませんか?

○入塾金: 3万円 授業料2万円/月8回講習

※カリキュラムは基本半年全48回講習ですが、半年後継続も可能

○18:00~19:20と19:30~20:50

※2クラス開講、各クラス限定20名で締め切ります。

○対象年齢: 15歳~25歳までの女性限定

実地

タレントメディア塾
KYOTO

お問い合わせ: 実践タレント・メディア塾 KYOTO

☎: 075-842-0700

住所: 京都市上京区大宮通丸太町上る
一丁目857番地の3 GENKI

URL: <http://www.mediajuku-kyoto.jp/>

mail: info@mediajuku-kyoto.jp

京都 CF
シー・エフ

Here comes all Kyoto's current topics
The most energetic regional magazine
for all pleasure hunters.

を創りたい人、募集中!

現在、「京都CF!」では、編集制作のお手伝いをして下さる方を募集しています。CF!が好きの方、京の町を遊び回るのが好きの方、原稿を書きたい方、雑誌編集・デジタル編集に興味がある方、フリーペーパーの制作に興味がある方、ご応募下さい。

私たちと一緒に「CF!」を創ってませんか?

まずは郵送にて履歴書をお送り下さい。

●問い合わせ先

京都CF編集部
Helpmate募集係 担当: 小崎 (こさき)
〒604-8134
京都市中京区六角通烏丸東入ル 大輝六角ビル4F
E-mail: kozaki@m21.or.jp

※今回の募集は社員募集ではありませんので

ご了承ください。

※今回電話でのご応募・ご購入は受け付けておりません
のでご了承ください。

POWER Music is moistened our life.
Tasteful album is here.
We'd like to find your recommended one.
PLAYSOUND

周りが変わっていくなかで
その先に見続けてきたもの



CHICAGO 6 / CHICAGO

「パーカッパなバンドが多い中で、CHICAGOはセクションで立って歌っている。プラスのメロディーにはかならず影響を受けています。」と、後藤氏。「これ以後のCHICAGOはほとんど軟弱になってしまっけど (笑)」



WHITE TRASH / WHITE TRASH

「JANGOのルーツというか、ジャクヌも真似しています。'90年代のオルタナ全盛期に、この底抜けの明るさ! このアルバムを聞いて、ロックにプラスが入るのもアリやって実感できた」と、二人共に外せない枚



Purple Rain / PRINCE

「プリンスは大尊敬するミュージシャン。音楽を始めるきっかけになった」と熊田氏。「彼の独自性にコミューン的な要素が加わったこの作品は、当時は酷評もされたけどストーリー性のあるPVも革命的でした!」



JUMPIN' JANGO FLASH / JANGO
BMGファンハウス 2520円(税込)

去年12月にテナーサクソ担当メンバーが加入し、9人編成となって初のアルバムでもある。「収録可能時間ギリギリに、詰められるだけ詰め込んだ」全16曲、懐から新曲の「もうサヨナラなんて言わない!」山場あり、ユルめの音ありと、ライブに似た構成



ストリートにも初出勤! 熊田晃典/JANGOヴォーカル
ライブも忘れず~ 後藤晃宏/JANGOギタリスト、DJ

4年間の活動休止期を明け、復帰から約半年、初のベストアルバムをリリースした「JANGO」。「再結成後からのファンも多いし、彼らにも僕らの歴史を知って欲しい」と、「究極の旧曲! 14曲」に、2曲の新曲を加えた「JUMPIN' JANGO FLASH」。ヴォーカル・熊田氏、ギター・後藤氏を始めメンバーたちにとっては「ジャンルとか方向性とか何も変わることなく、ただ前に向かって」と実感できる1枚となった。'96のGIVE YOUのヒット後、決まったイメージで固められがちだったように、新曲やニューアルバムの発表の度に「新境地」というコトバで迎えられることも多い彼ら。だがそれは、「時代によって僕らの音楽の捉えられ方や、置かれるポジションが変わっているだけ」。10年余りの歴史の中で一貫して彼らの進む先にあるものが、傍からは見えていなかったり、予想よりさらに先にあったりするだけなのだ。今作も単にメモリアル的なものではなく、一本の道に出来た過程の一つなのだ。



主に60's~70'sのモダンブルースを中心にプレイ。自ら公演はしないが、元妻の島田和夫氏の前身に出演するほどの腕っ節を備えたバンド、「ライブ後に『音がデカイ』って怒られましたけど (笑)」

賃貸の住宅地。車庫裏でカジュアルウェアのセレクトショップ「CHIME」を経営。ラインナップはGO WESTやWhite House Coxなど。国内外問わず良質な定番モノをセレクト。「ストップかけてください (笑)」と、客とブルースに陥らず音楽談話になると話が進まないのが目下の悩みどころ

ハモックス・デラックス・ショーInfo

■ライブ 未定
■問い合わせ「CHIME」077-554-4540

「建築」の二文字から二足の草鞋(ダブル・ロールズ)を天祥の息の上で履かざるをえない音楽人。夢と生草を計りにかけつつフルタイムで稼ぎ、音楽をこよなく愛する男。それが「ダブル・ロールズミュージシャン」。

ハモックス・デラックス・ショーの
Vol.08 東出幸兵

ブルースに長けたシンパリズムを醸成した
高校生の頃、エルモア・ジェームズを聞いて以来ブルース一辺倒。その魅力に「ブルースってシンブル、それですべてだから奥が深い」と東出さんは言う。シンブルってシンブル、それが曲が成り立つところ。しかし、その中に潜むポテンシャルはプレイする側の感情の込め方次第でその表情がガラリと変わるところにある。そして、自身がギターを担当するブルースバンドでは、それを見事に体現してきた。一方の本業、アパレルメーカーの企画を経て独立。滋賀のローカルポイントに店を構えて4年半が過ぎた。スローモーションで静かなる音楽界に客たちには「服を求めて」というよりむしろ「幸兵さんトコ遊びに行こう」というスタンス。その高売気質のなせ、商品セレクト、音楽に彼の人生はさしずめ3コードのトリーキングブルースか?